

モデルによってデザインが異なります。
The design may differ according to the model.

このたびは、シチズンクオーツウォッチをお買上げ戴きましてありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保存し必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

～目次～

1. 商品の特徴	4	11. クロノグラフの使い方	23
2. ご使用になる前に	5	A. 計測中の表示の見方	24
3. 各部の名称と役割	6	B. クロノグラフ計測方法	24
4. 表示の切り替え	8	12. タイマーの使い方	26
5. ELライトの点灯	9	A. タイマーセット方法	26
6. ソーラーパワーウォッチ特有の機能について	10	B. タイマー計測方法	27
A. オートパワーセーブ機能	12	13. ソーラーパワーウォッチ充電時間の目安	29
B. マニュアルパワーセーブ機能	13	14. ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意	31
C. 充電警告機能	14	15. このような場合には	33
D. 時刻合わせ告知機能	15	16. オールリセットについて	35
E. 過充電防止機能	16	17. お取り扱いに当たって	36
7. 充電量表示の見方	16	18. 保証とアフターサービスについて	44
8. 時刻・カレンダー合わせ	17	19. 製品仕様	46
9. ローカルタイムの使い方	19	20. シチズンサービスセンター所在地	48
A. ローカルタイム合わせ	19		
10. アラームの使い方	21		
A. アラームのON/OFF切り替え	21		
B. アラームセット	22		

1. 商品の特徴

この時計は、時計上面のソーラーセルに光を当てることで、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動する「光発電機能」を搭載したソーラーパワーデジタルウォッチです。

- ・ソーラーセルに光が当たらない状態になると、自動的に時計の表示や機能を制御して電力の消費量を抑える「オートパワーセーブ機能」や、ボタン操作で強制的にパワーセーブ状態にすることができる「マニュアルパワーセーブ機能」。
- ・二次電池のおおよその充電量がわかる「充電量表示」。
- ・暗いところでも表示が見えるELライト機能。
など便利な機能を搭載しています。

2. ご使用になる前に

この時計は光がエネルギー源です。ご使用になる前には、時計上面のソーラーセルに光を当てて、十分に充電してください。







この時計には、充電された電気エネルギーを蓄えるために二次電池を使用しています。この二次電池は、水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。一度フル充電(二次電池に満タンに充電)すると、約5年(パワーセーブ3状態*1のとき)は充電しなくても時計は動き続けます。

*1：ソーラーセルに光が当たらず発電が停止すると、パワーセーブ機能が働いて時計の電力消費を抑えます。(詳しくは「6-A.オートパワーセーブ機能」を参照ください)

<この時計の上手な使い方>

- ・毎日の充電を心掛けてご使用されることをおすすめします。
- ・この時計は一度充電不足によって停止してしまうと、再び時計を動かすまでに長時間の充電が必要となります。常に余裕をもって充電することを心掛けてください。
- ・この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。

3. 各部の名称と役割

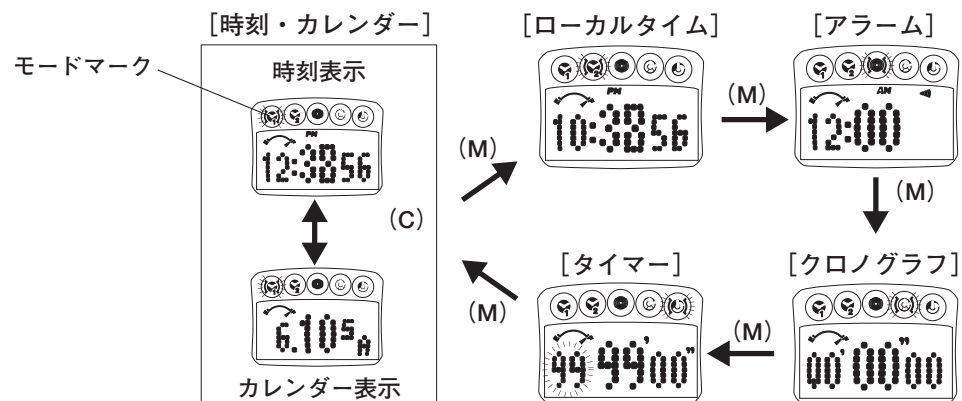
名称 / 表示		時刻・カレンダー	ローカルタイム	アラーム	クロノグラフ	タイマー
(A) ボタン	1度押す	—	—	—	スタート/ストップ	スタート/ストップ
	2秒以上押す	時刻修正状態へ	ローカルタイム修正状態へ	アラーム修正状態へ	—	—
(B) ボタン	押す	ELライト点灯	ELライト点灯	ELライト点灯	ELライト点灯	ELライト点灯
(C) ボタン	1度押す	時刻/カレンダー切り替え	—	アラームON/OFF切り替え	スプリットタイム/リセット	再スタート/リセット
	2秒以上押す	—	—	アラームモニター	—	—
(M) ボタン	1度押す	ローカルタイムモードへ	アラームモードへ	クロノグラフモードへ	タイマーモードへ	時刻・カレンダーモードへ
1：表示部		時刻(時,分,秒)または カレンダー(月,日,曜)	ローカルタイム (時,分,秒)	アラーム時刻(時,分)、 ONマーク()	計測時間(分,秒,1/100秒 または時、分、秒)	セット時間、 残時間(分,秒)
2：モードマーク						

3：充電量表示：二次電池の充電残量の目安を表示します。充電不足による停止間近には点滅してお知らせ(充電警告表示)します。

4：ソーラーセル：ソーラーセルに光を当てることで充電できます。

4. 表示の切り替え

- ・ (M) ボタンを押す毎に図の順番で表示が切り変わります。
- ・ 時刻・カレンダーモードで (C) ボタンを押す毎に時刻とカレンダーを交互に表示します。
- ・ 現在表示中のモードは、それぞれのモードマーク横の { } が点滅します。



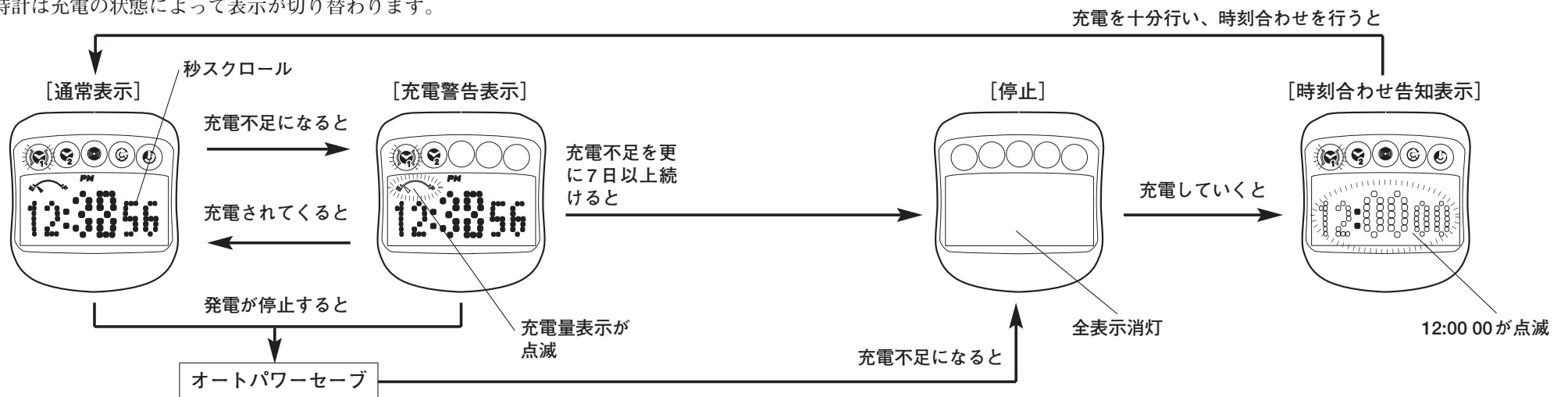
- * カレンダー表示で約10秒経過すると、自動的に時刻表示に戻ります。
- * アラームモードで約2分間ボタン操作が行われないと、自動的に時刻・カレンダーモード(時刻表示)に戻ります。
- * クロノグラフ及びタイマーのモードマーク横の { } が点灯している場合は、時計内部でそのモード(クロノグラフまたはタイマー)が作動していることを表します。

5. ELライトの点灯

各モードで (B) ボタンを押すと(または押ししている間) ELライトが点灯します。

6. ソーラーパワーウォッチ特有の機能について

この時計は充電の状態によって表示が切り替わります。



A. オートパワーセーブ機能

オートパワーセーブは、ソーラーセルに光が当たらず発電が停止すると発電停止の長さによって時計の状態を自動的に下記の3段階で切り替え、時計の電力消費を抑える機能です。

・パワーセーブ1

ソーラーセルに光が当たらず発電停止が約2秒続くと、時刻、ローカルタイム及びタイマーの「秒」表示のスクロールを停止します。

・パワーセーブ2

「パワーセーブ1」の状態から更に発電停止が約5分続くと、デジタル表示が全て消灯します。(表示は消えても、時計内部で時刻をはじめアラームやクロノグラフ、タイマー等の機能は作動しています)

・パワーセーブ3

「パワーセーブ2」の状態から更に発電停止が約3日続くと、時刻・カレンダーモード以外の全ての機能が停止します。(アラームがセットされていてもアラームは鳴りません。)

(注意) ・二次電池がフル充電され過充電防止機能が働いている間は、ソーラーセルに光が当たらず発電が行われなくてもパワーセーブ機能は作動しません。また急激な光が当たり一時的にフル充電になった場合も同様にパワーセーブ機能は作動しません。

パワーセーブ状態からの復帰方法

いずれかのボタンを押すか、ソーラーセルに光が当たり発電が開始されると、パワーセーブが解除され通常表示に戻ります。

B. マニュアルパワーセーブ機能

時計を長期間使用しない場合などには、ボタン操作で強制的にパワーセーブ3状態にして、時計の電力消費を抑えることができます。

操作方法：時刻・カレンダーモードまたはローカルタイムモードで(A)ボタンと(C)ボタンを約3秒押し続けると、強制的にパワーセーブ3状態にすることができます。

この操作でパワーセーブ3の状態にした場合は、いずれかのボタンを押すまでパワーセーブ3の状態が続きます。

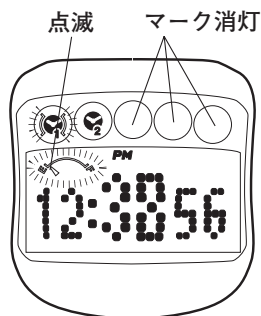
尚、マニュアルパワーセーブ中も光が当たっていれば充電されます。

C. 充電警告機能

充電不足で時計の停止間近になると、充電量表示が点滅して「充電不足」をお知らせします。

- ・時刻・カレンダーモード及びローカルタイムモード以外のモードマークが消え、時刻・カレンダー及びローカルタイム以外の機能が停止します。
- ・(B)ボタンを押してもELライトは点灯しません。
- ・アラームがセットされていてもアラームは鳴りません。
- ・クロノグラフやタイマーを計測中の場合は計測を中止します。

充電警告状態で更に充電不足が続くと、約7日後には時計は停止します。



この状態でも時刻・カレンダー及びローカルタイムは正しく表示しています。
十分に充電を行えば、通常表示に戻ります。

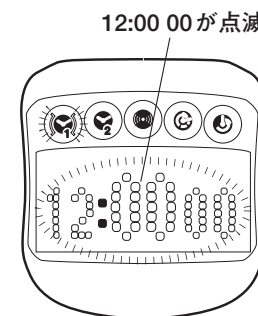
D. 時刻合わせ告知機能

一度停止した時計に再び光を当てていき、全機能が使用できるまでの充電量になると、時刻・カレンダーモードで12:00 00が点滅して「時刻合わせが必要」であることをお知らせします。

- ・この状態では、時刻・カレンダー合わせ以外の操作はできません。

時刻・カレンダーを合わせ直せば、通常表示に戻ります。

(A)ボタンを約2秒押し続けると時刻修正状態(秒が点滅)になります。



- *時刻・カレンダーを合わせた後、必要に応じてアラームやローカルタイムも合わせ直してください。
- *この表示になってすぐに充電を止めてしまうと、充電が十分で無いため、時計は再び停止してしまいますので、充電量表示を目安に更に十分な充電を行ってください。

E. 過充電防止機能

二次電池がフル充電になると、それ以上は充電がされないように過充電防止機能が働きますので充電し過ぎる心配はありません。

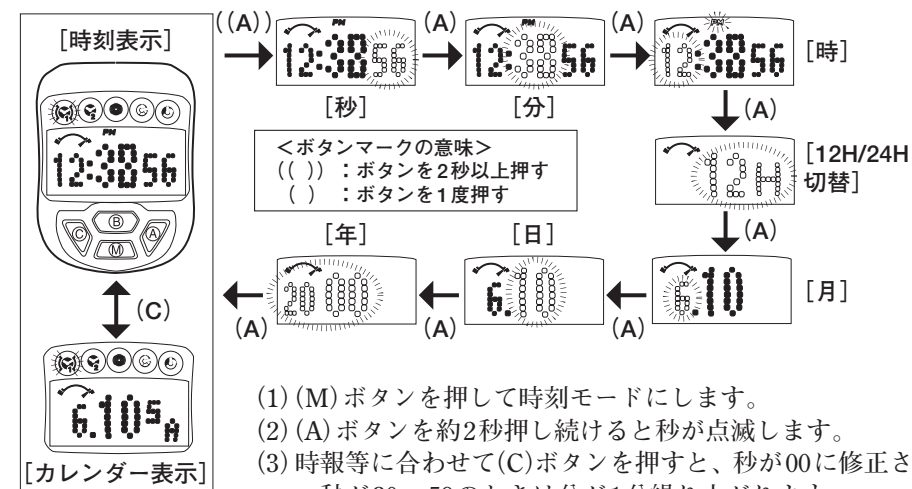
マニュアルパワーセーブが動作していても、過充電防止機能は働きます。

7. 充電量表示の見方

二次電池に残された充電量の目安を表示します。

表示			
充電量	ほぼ満タン	中くらい	少ない

8. 時刻・カレンダー合わせ



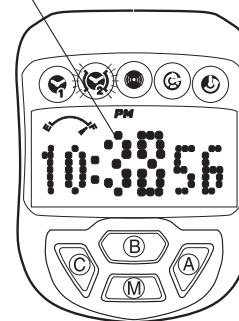
- (4) (A) ボタンを押す毎に図の順番で点滅箇所が替わります。修正したい箇所を点滅させてください。
- (5) (C) ボタンを押して点滅箇所を修正します。
- ・ (C) ボタンを押す毎に表示が1つずつ進み、(C) ボタンを押し続けると早修正できます。
 - ・ 12/24時間制切り替えは、(C) ボタンを押す毎に交互に切り替わります。
- (6) 修正が完了したら (M) ボタンを押して通常表示に戻します。

- * 12時間制表示のときは、午前 (AM) と午後 (PM) に注意してください。
- * 修正状態 (表示が点滅) で約2分間ボタン操作が行われないと、自動的に通常表示に戻ります。
- * 修正状態で (M) ボタンを押すとすぐに通常表示に戻ります。
- * 年の修正範囲は2000年～2099です。
- * 曜は月、日、年の修正によって自動的に修正されます。
- * カレンダーはフルオートカレンダーです。1度合わせるとうるう年も含めて月末の修正は不要です。
- * カレンダーを実在しない日に合わせた場合は、通常表示に戻したときに自動的に翌月の1日に修正されます。(例：2月30日→3月1日)

9. ローカルタイムの使い方

ローカルタイムは、時刻・カレンダーモードの時刻とは別に、もう1つの時刻(時、分)を表示することができます。

[ローカルタイム通常表示]
ローカルタイム



A. ローカルタイム合わせ

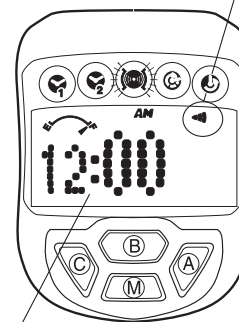
- (1) (M) ボタンを押してローカルタイムモードにします。
- (2) (A) ボタンを約2秒押し続けると時が点滅します。
- (3) (C) ボタンを押して時を修正します。
(C) ボタンを押す毎に表示が1つずつ進み、(C) ボタンを押し続けると早修正できます。
- (4) (A) ボタンを押すと分が点滅します。
- (5) (C) ボタンを押して分を修正します。
- (6) 修正が完了したら (M) ボタンを押してローカルタイム通常表示に戻します。

- * ローカルタイムの秒は時刻・カレンダーモードの秒と同期しています。
- * 修正状態(表示が点滅)で約2分間ボタン操作が行われないと、自動的にローカルタイム通常表示に戻ります。
- * 修正状態で(M) ボタンを押すとすぐにローカルタイム通常表示に戻ります。

10. アラームの使い方


このアラームはデイリーアラームです。
1度セット(ON)すると毎日同じ時刻にアラームが約15秒間鳴ります。
鳴っているアラームは、どのボタンを押しても鳴りやみます。

[アラーム通常表示 (ON)]
アラームONマーク



アラーム時刻

A. アラームのON/OFF切り替え

アラームモードで(C) ボタンを押す毎にアラームのセット(ON)と解除(OFF)が切り替わります。
アラームをセットするとアラームONマーク()が点灯します。

<アラームモニター>

アラームモードで(C) ボタンを押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

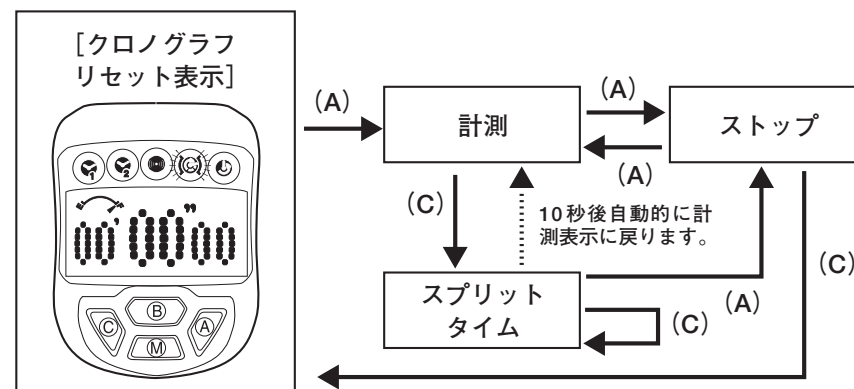
B. アラームセット

- (1) (M) ボタンを押してアラームモードにします。
- (2) (A) ボタンを約2秒押し続けると、時が点滅します。
- (3) (C) ボタンを押して時を修正します。
(C) ボタンを押す毎に表示が1つずつ進み、(C) ボタンを押し続けると早修正できます。
- (4) (A) ボタンを押すと分が点滅します。
- (5) (C) ボタンを押して分を修正します。
- (6) 修正が完了したら (M) ボタンを押してアラーム通常表示に戻します。

- * 修正状態(表示が点滅)で約2分間ボタン操作が行われないと、自動的にアラーム通常表示に戻ります。
- * 修正状態で(M) ボタンを押すとすぐにアラーム通常表示に戻ります。
- * アラームモードで約2分間ボタン操作が行われないと、自動的に時刻・カレンダーモード(時刻表示)に戻ります。

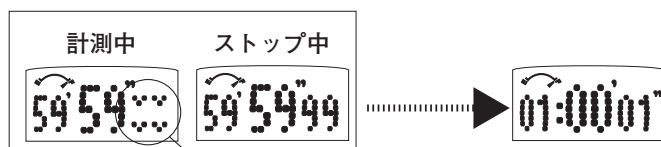
11. クロノグラフの使い方

このクロノグラフは1/100秒単位(60分以後は1秒単位)で、最大23時間59分59秒まで計測できます。24時間経過後はリセット表示(00'00"00)に戻り停止します。



A. 計測中の表示の見方

・ 59分59秒99まで：分、秒、1/100秒表示



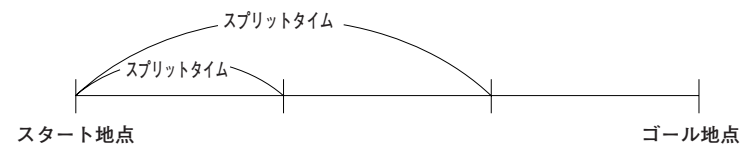
B. クロノグラフ計測方法

- (1) (M) ボタンを押してクロノグラフモードにします。
- (2) (A) ボタンを押すとスタートし、計測中に(A) ボタンを押すとストップします。
(A) ボタンを押す毎にスタート/ストップをくり返します。
- (3) ストップ中に(C) ボタンを押すとリセット表示に戻ります。

<スプリットタイム計測>

クロノグラフ計測中、(C) ボタンを押す毎に最新のスプリットタイムを約10秒間表示します。(スプリットタイム表示中はSPLマークが点滅します。)

☆スプリットタイムとは、... スタート地点からの途中経過時間のことです。



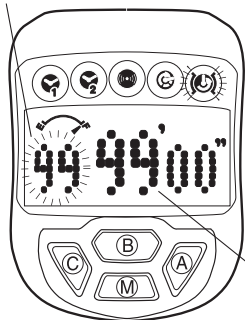
- * クロノグラフのスタート、ストップ、スプリットタイム、リセットの操作時に確認音が鳴ります。
- * クロノグラフ計測中でも(M) ボタンを押すと、モード切り替えが可能です。再びクロノグラフモードに戻せば、計測の続きを表示することができます。但し、計測が24時間を超えた場合はリセット表示に戻ります。

12. タイマーの使い方

タイマーは、1分単位で99分～1分の間でセットできます。セットした時間の計測が終了すると、約5秒間タイムアップ音が鳴ります。タイムアップ後はセット表示に戻り停止します。

[タイマーセット表示]

セット時間 (分)



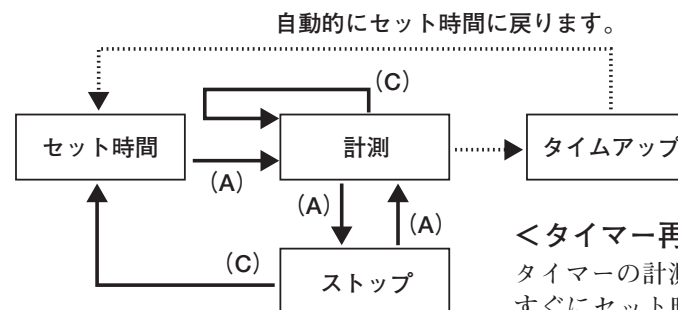
残り時間 (分、秒)

A. タイマーセット方法

- (1) (M) ボタンを押してタイマーモードにします。
- (2) (C) ボタンを押す毎にセット時間を-1分ずつ修正できます((C) ボタンを押し続けると早修正できます。)

B. タイマー計測方法

- (1) (M) ボタンを押してタイマーモードにします。
- (2) (A) ボタンを押すとセット時間からタイマーがスタートします。
- (3) 計測中に(A) ボタンを押すとストップし、再度(A) ボタンを押すと再スタートします。
- (4) ストップ中に(C) ボタンを押すとセット時間に戻ります。



<タイマー再スタート機能>

タイマーの計測中に(C) ボタンを押すと、すぐにセット時間に戻り、再スタートします。

- * タイマーのスタート、ストップ、再スタート、リセットの操作時に確認音が鳴ります。
- * タイマー計測中でも(M)ボタンを押すと、モード切り替えが可能です。再びタイマーモードに戻せば、計測の続きを表示することができます。但し、セット時間の計測が終了した場合は、セット時間表示に戻ります。

13. ソーラーパワーウォッチ充電時間の目安

時計のモデルによって充電時間は異なります。
あくまでも目安としてご利用ください。

照度 (ルクス)	環境	充電時間		
		1日分の 充電時間	停止状態から表示 が復帰するまでの 充電時間	フル充電時間
500	屋内(一般オフィス)照明	約4時間	約32時間	約158日
1,000	蛍光灯(30W)の下60cm~70cm	約2時間	約17時間	約80日
3,000	蛍光灯(30W)の下20cm	約50分	約6時間	約25日
10,000	曇天	約20分	約2時間30分	約250時間
100,000	夏の日直射日光下	約10分	約1時間	約115時間

* 充電時間は連続照射時間です。

- ・ 1日分の充電時間：時計を1日動かすのに必要な時間。
※夜間(約8時間)はオートパワーセーブが働くことを想定しています。
- ・ 停止状態から表示が復帰するまでの充電時間
：時計が停止している状態から、時計の全ての機能が使用できるようになるまで(時刻合わせ告知表示になるまで)の充電時間。
- ・ フル充電時間：時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間。



この時計は一度フル充電すると、充電しなくてもパワーセーブ3状態で約5年動き続けます。
しかし、充電不足によって一度停止してしまうと、表示が復帰するまでに時間がかかり、更に時刻合わせも必要となってしまいます。
できるだけ毎日の充電を心掛けてご使用ください。

14. ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意

注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので、高温下(約50℃以上)での充電は避けてください。
例) 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。
車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。
- ・ 白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

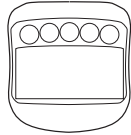

警告 指定の二次電池以外は使用しないでください


- ・この時計用の指定二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損及び人体を傷つける危険があります。
二次電池を交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

警告 二次電池の取り扱いについて

- ・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・万一、二次電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談して治療を受けてください。

15. このような場合には

時計の状態	考えられる原因	対処方法
<p>デジタル表示が全て消えてしまった!</p> 	<p>パワーセーブ状態(パワーセーブ2またはパワーセーブ3)になっているか、充電不足によって停止しています。 * 詳しくは「6-A.オートパワーセーブ機能」を参照ください。</p>	<p>パワーセーブ状態の場合は、ソーラーセルに光を当てるか、いずれかのボタンを押すと通常表示に戻ります。 それでも表示が現われない場合は充電不足です ソーラーセルに光を当てて充電量表示を目安に十分に充電してください。</p>
<p>「12:00 00」が点滅表示したまま動かない!</p> 	<p>時計が一度停止したか、オールリセット操作後のため、「時刻合わせ告知表示」になっています。 * 詳しくは「6-D.時刻合わせ告知機能」を参照ください。</p>	<p>(A) ボタン約2秒押し続けると、時刻・カレンダーの修正状態(秒が点滅)になりますので、時刻を始め、各モードを再度合わせ直してください。</p>

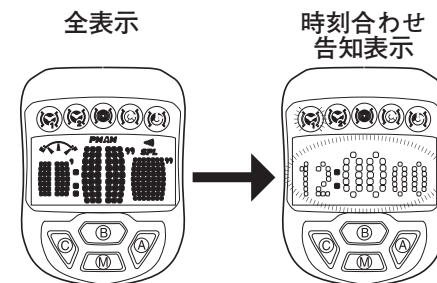
状態	考えられる原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> ・アラームが鳴らない! ・ELライトが点灯しない! 	充電不足の為、アラームやELライトの機能が制御されています。 (充電警告機能が働いています) *詳しくは「6-C.充電警告機能」を参照ください。 	ソーラーセルに光を当てて充電量表示を目安に十分に充電してください。
その他、時計が異常な表示や動作をしている	過って、時計に強い衝撃や強い静電気を加えてしまうと、まれに時計が異常な表示や動作をする場合があります。	「16.オールリセットについて」を参照して、オールリセットを行ってください。

☆ 上記の対処を行っても問題が解決されない場合は、お買い上げ店または弊社サービスセンターにご相談ください。

16. オールリセットについて

時刻・カレンダーをはじめ、時計の全ての設定を初期の状態に戻します。時計が異常表示した場合には次のオールリセットを行ってください。




- (1) 4つのボタンを同時に押し離すと、全表示が点灯します。(全表示中は1秒毎に音が鳴りますが時計の異常ではありません。)
- (2) いずれか1つのボタンを押すと、確認音が鳴り、時刻合わせ告知表示(12:00:00)が点滅になります。
以上でオールリセット操作は完了です。
- (3) (A) ボタンを約2秒押し続けると、時刻・カレンダーの修正状態になります。時刻・カレンダーを合わせ直した後、必要に応じてアラームやローカルタイムも合わせ直してご使用ください。



17. お取り扱いに当たって

防水性について

・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。
(1barは約1気圧に相当します)

名称	表示		仕様	使用例				
	文字板	ケース(裏ぶた)						
日常生活用 防水時計	無表示	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用 強化防水時計	WATER RESIST 5bar または無表示	WATER RESIST (ANT) 5barまたはWATER RESIST (ANT)	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用 強化防水時計	WATER RESIST 10/20bar または無表示	WATER RESIST (ANT) 10/20barまたはWATER RESIST (ANT)	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

・ WATER RESIST (ANT) ××barはW.R.××barと表示している場合があります。

警告 防水性能について

- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンドайビング)などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

注意

- ・水分のついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド(金属製またはゴム製)にお取り替えの上、ご使用ください。
- ・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。

- ・万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社サービスセンターへ修理、点検を依頼してください。
- ・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、ボタンなど)が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

- ・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・ウレタンバンドは、衣類などの染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちするもの(衣類、バック等)と一緒に使用する場合はご注意ください。

注意 バンドのお取り扱いについて(着脱時の注意)

- ・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

注意 時計は常に清潔に

- ・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。
かぶれの原因は
 1. 金属、皮革アレルギー
 2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- ・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

<時計のお手入れ方法>

- ・ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- ・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
- ・金属バンド/プラスチックバンド/ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- ・溶剤類(シンナー、ベンジンなど)の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

<温度について>

・0℃～+50℃から外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。

<ショックについて>

・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

<静電気について>

・クオーツウオッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示が狂うことがありますのでご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保管について>

- ・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
- ・時計を長期間ご使用にならない場合、できるだけ光が当たる場所で保管することをおすすめします。また、マニュアルパワーセーブでパワーセーブ3状態にして保管すると、持続時間が長続きします。

18. 保証とアフターサービスについて

1. 保証について

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

2. 修理用部品の保有期間について

当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・ボタン・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

3. 修理可能期間について

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4. ご転居・ご贈答品の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社サービスセンターにご相談ください。

5. 定期点検(有償)について

安全に永くご使用いただくために2～3年に一度、点検(有償)を行ってください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社サービスセンターにご相談ください。

6. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、弊社サービスセンターにご相談ください。

19. 製品仕様

1. キャリバーNo.：D600
2. 型式：デジタルクォーツウォッチ
3. 時間精度：平均月差±15秒 常温(+5℃～+35℃)携帯時
4. 作動温度範囲：0℃～+50℃
5. 表示機能：
 - ・時刻／カレンダー：時、分、秒／月、日、曜(修正時のみ年表示)
 - ・ローカルタイム：時、分、秒
 - ・アラーム：時、分、ONマーク
 - ・クロノグラフ：24時間計(計測単位：60分未満は1/100秒単位、以降1秒単位)、
スプリットタイム計測
 - ・タイマー：99分計(1秒単位)
6. 付加機能：
 - ・光発電機能
 - ・オートパワーセーブ機能
 - ・マニュアルパワーセーブ機能
 - ・充電量表示

- ・充電警告機能
 - ・時刻合わせ告知機能
 - ・ELライト機能
7. 持続時間：
 - ・フル充電～停止：約5年(パワーセーブ3状態のとき)
 - ・充電警告表示～停止：約7日
 8. 使用電池：二次電池 1個

* 上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。